

郷土の宝を再認識

～春の文化財めぐり～

春の文化財めぐりは、象潟郷土資料館の企画展「芭蕉と象潟」の展示解説と国の重要無形民俗文化財の「小滝のチョウクライロ舞」が行われた6月10日に実施されました。

午前中にそれらを見学し、午後からは国の天然記念物「獅子ヶ原湿原」を観察。

貴重な伝統行事や自然にふれた参加者は、改めて郷土の豊かさと文化財保護の必要性を感じていました。



第18回秋田おばこ節全国大会

～熟年の部で優勝～

6月4日、大仙市の大曲市民会館で第18回秋田おばこ節全国大会が行われました。

大会に出場した佐藤良雄さん(仁賀保/中三地)が熟年の部で見事に優勝を飾りました。

市図書館・図書室に本を寄贈

～國松雄介さん(出書)の執筆小説が出版～



現在、埼玉県川越市在住で象潟出身の國松雄介さんが、自分で執筆した小説「青い旅立ち」(文芸社出版)を市図書館と図書室に寄贈しました。

自身のグアム旅行の体験などを通し書かれたこの小説は、國松さんにとって初めての作品。読んでもらった友人のすすめで出版社へ送ると、トン拍子に出版が決まったものです。

にかほ市に絵画を寄贈

～新井康須雄さんが描いた油絵「鳥海山」～



6月9日、柏文林堂書店の代表取締役、齋藤宗治さんからにかほ市に油絵「鳥海山」が寄贈されました。

この油絵は、神奈川県大和市在住の新井康須雄さんが雄大にそびえたつ鳥海山をテーマに描いた作品で、「新生にかほ市がスタートした記念に市のシンボルといえる鳥海山の絵をたくさんの市民に見てもらって和んでもらいたい」と市長に手渡されました。

この作品は、むらすぎ荘で行われた展示会にも出品され、主催者の文林堂書店のご好意により市へ寄贈されたものです。

作品は、象潟庁舎市民ホールに飾られています。



にかほ市国際交流協会が設立

～国際親善と国際社会に対応できる人材育成を～

6月9日、旧3町の国際交流協会および日中友好協会の会員らが出席し、横山市長立ち合いのもと、にかほ市国際交流協会設立総会が行われました。

同協会は、活動基盤の強化を図るため統合するもので、旧3町にあった4つの交流協会が加盟し、新しい規約や事業計画などについて話し合われました。会長には、佐々木正己さん(象潟/上荒屋)が選出され、にかほ市民が諸外国への理解を深め、国際親善と交流および国際支援活動を通し、国際社会に対応できる人材の育成と地域振興に寄与することを誓い合いました。

出場者189名が自慢の「のど」を披露

～第11回秋田草刈唄全国大会inにかほ～

6月17日、第11回秋田草刈唄全国大会が仁賀保勤労青少年ホームで行われました。全国各地から出場した189名が、自慢ののどを披露し、当時の懐かしい情景が思い描かれるこの唄に観客から大きな拍手が送られました。大賞の部決選には、予選で勝ち抜いた30人が進出し、高橋一郎さんが見事優勝しました。

(以下結果報告)

★大賞の部	★高齢の部	★年少の部
優勝 高橋一郎さん(横手市)	優勝 高橋 勇さん(秋田市)	優勝 渡辺早織さん(大館市)
準優勝 浜口優花さん(大仙市)	準優勝 渡部利男さん(羽後町)	準優勝 地主和希さん(仙北市)
第3位 田中啓子さん(秋田市)	第3位 鈴木金市さん(仙北市)	第3位 富岡沙樹さん(仙北市)



大賞の部で優勝した高橋一郎さん



広大な自然の中をウォーキング

～にかほ市眺望ウォーキング～

6月3日、「スポレクフェスタあきた」全県一斉ウォーキング月間として、にかほ市眺望ウォーキングが仁賀保高原サイクリングロードで行われました。

この日は、天候に恵まれウォーキングをするには、最高の日になりました。

今回参加した36名の皆さんは、広大な仁賀保高原の自然とサイクリングロードから眺望できるにかほ市の風景を楽しみながら思い思いのウォーキングを楽しんでいました。